

# スポーツ健康学部カリキュラム <2013年度以降入学生>

		1年次	2年次	3年次	4年次	
総合教育科目 (28単位以上)	外国語科目 (8単位以上)	(通) 総合英語 I [2] (通) 総合英語 II [2]	(通) 総合英語 III [2] (通) 総合英語 IV [2]			
	視野形成科目 (20単位以上)	(通) 英語コミュニケーション I [2]	(通) 英語コミュニケーション II [2]			
専門基礎科目 (27単位以上)	必修 (4単位)	(春) スポーツ健康学入門 [2] (春) スポーツとキャリア形成 [2]				
	必修選択 (16単位以上)	(春) 経営学 [2] (春) 法学 (日本国憲法) [2] (春) コミュニケーション論 [2] (春) 保健体育概論 [2] (春) 情報リテラシー I [2]	(春) 統計学 I [2] (春) 障害者福祉論 [2] (春) 音楽文化論 [2] (春) キャリアデザイン論 [2]	(秋) 情報リテラシー II [2] (秋) 人間とスポーツ [2] (秋) スポーツレクリエーション論 [2] (秋) 統計学 II [2] (休講) (秋) 病の社会史 [2] (休講) (秋) 女性とスポーツ [2]	(秋) 生命倫理 [2] (秋) 数学 [2] (秋) 基礎科学 [2] (秋) 哲学 [2] (秋) 多摩地域形成論 [2]	
専門基礎科目 (12単位以上)	講義科目 コース共通 必修 (22単位)	(春) 生理学A [2] (春) 機能解剖学 [2] (春) スポーツ哲学 [2] (春) スポーツ社会学 [2] (秋) 健康科学 [2] (秋) スポーツ運動学 I [2] (秋) スポーツ心理学A [2] (秋) スポーツ史 [2]	(春) 運動生理学概論 [2] (春) スポーツリスクマネジメント [2] (秋) スポーツマネジメント論 [2]			
	実技科目 コース共通 必修 (5単位)	(春) スポーツ実習入門 [1]	(春・秋) 陸上競技実習 [1] (春・秋) ラケットスポーツ実習 [1]	(春・秋) スイミング実習 [1] (春・秋) ボールスポーツ実習 [1]		
専門基礎科目 (12単位以上)	コース共通 必修選択 (12単位以上)	(春) スポーツコーチング論 I [2] (春) スポーツトレーニング論 I [2] (秋) 生理学B [2] (秋) スポーツビジネス論 I [2] (秋) 衛生学 [2] (秋) スポーツ法学 I [2]	(春) スポーツ栄養学 [2] (春) スポーツバイオメカニクス [2] (春) 体力測定・評価論 [2] (春) 学校保健 [2] (秋) 予防医学概論 [2] (秋) 公衆衛生学 [2]			
	「専門科目」の合計 (50単位以上)	ヘルスデザインコース				
専門科目 (50単位以上)	必修選択 (選択したコースから20単位以上選択)	ヘルスデザインコース	(秋) 運動療法総論 [2] (秋) スポーツコンディショニング論 I [2] (秋) アスレティックトレーナー概論 [2] (秋) Health and Exercise Sciences [2]	(春) リハビリテーション概論 [2] (春) 健康と疾患 [2] (春) スポーツコンディショニング論 II [2] (通) テーピング・コンディショニング指導論 [3] (春) ジョギング・ウォーキング実習 [1] (春) フィットネス・トレーニング実習 [1]	(春) 運動処方・負荷テスト [2] (春) スポーツ医学 (内科系) [2] (春) 生活習慣病と身体活動 [2] (春) 運動生理学 [2] (秋) エアロビック運動実習 [1] (秋) 体力測定・評価実習 [1]	(秋) アスレティックリハビリテーション [2] (秋) スポーツ医学 (外科系) [2]
		スポーツビジネスコース	(春) レジャー論 [2] (春) スポーツ文化論 [2] (春) 地域スポーツ経営論 [2] (秋) スポーツとまちづくり [2] (秋) スポーツ経済論 [2] (秋) スポーツメディア論 [2]	(春) スポーツと政治 [2] (春) スポーツ産業論 [2] (春) スポーツビジネス論 II [2] (秋) スポーツ行政論 [2] (秋) スポーツ法学 II [2] (秋) スポーツ取材論 [2] (秋) スポーツマーケティング論 [2]	(春) スポーツイベント論 [2] (春) スポーツジャーナリズム論 (新聞) [2] (秋) スポーツビジネス論 III [2] (通) マーケティングリサーチ実習 [3]	(春) スポーツジャーナリズム論 (放送) [2] (秋) スポーツ政策論 [2]
専門科目 (50単位以上)	必修選択 (選択したコースから20単位以上選択)	スポーツコーチングコース	(春) トップアスリート論 [2] (秋) スポーツトレーニング論 II [2] (秋) ダンス指導論実習 [2] (春) 柔道指導論実習 [1] (秋) 武道指導論実習 [2] (秋) 剣道指導論実習 [1]	(春) スポーツ運動学 II [2] (春) スポーツ戦略・戦術論 [2] (春) スポーツ心理学B [2] (秋) スポーツコーチング論 II [2] (秋) 器械運動指導論実習 [1] (春) サッカー指導論実習 [1] (秋) サッカー指導論実習 [2] (春) バドミントン指導論実習 [1] (秋) バドミントン指導論実習 [2] (春) バレーボール指導論実習 [1] (秋) バレーボール指導論実習 [2] (集中) 野外教育指導論実習 (スノー) [3]	(春) 体づくり運動指導論実習 [1] (春) テニス指導論実習 [1] (秋) テニス指導論実習 [2] (春) ソフトボール指導論実習 [1] (秋) ソフトボール指導論実習 [2] (春) バスケ指導論実習 [1] (秋) バスケ指導論実習 [2] (集中) 野外教育指導論実習 (マリン) [2]	(春) 陸上競技指導論実習 [1] (秋) 陸上競技指導論実習 [2] (春) スイミング指導論実習 [1] (秋) スイミング指導論実習 [2]
		選択		(通) 専門演習 I [4] (通) 英語演習 I [4] (通) 英語演習 II [4]	(通) 専門演習 II [4]	(通) 専門演習 III [4]

(春) = 春学期科目 \* [ ] = 単位数  
 (秋) = 秋学期科目  
 (通) = 通年科目  
 (集中) = 集中科目

## 5. 履修上限単位数

授業は、授業時間以外の学修を行うことを前提に実施されており、単位は週あたりの学修時間によって決められています。そのため、履修登録単位数には上限が設けられており、無制限に単位を修得できるわけではありません。1年間に履修可能な登録単位数は次のとおり定められていますので、十分注意して登録してください。

教職・資格科目の履修の有無により登録単位数の上限は異なります。下の表を確認し、十分注意して登録してください。

### (1) 履修登録単位の上限

#### ◆ 教職・資格科目を履修しない場合の履修上限単位数（2013年度以降入学生）

科 目		学 年			
		1 年	2 年	3 年	4 年
総合教育科目	年 間	42	42	42	42
専門教育科目					
再履修科目（前年度未履修単位含む）		0	+7	+7	+7
再履修含む場合の上限単位数		42	49	49	49

- ・ 進級あるいは卒業する場合には、当該年度に総合教育科目・専門教育科目より4単位以上修得しなければなりません。
- ・ 2年生以降の再履修科目については、7単位を上限とします。
- ・ 半期毎の履修登録単位については上限を設けませんが、下記を目安にして、一方の学期に履修が偏りすぎることのないよう計画的な学習計画を立ててください。

#### ◆ 教職・資格科目を履修する場合の履修上限単位数（2013年度以降入学生）

科 目		学 年			
		1 年	2 年	3 年	4 年
総合教育科目	年 間	42	42	42	42
専門教育科目					
再履修科目（前年度未履修単位含む）		0	+7	+7	+7
教職科目		+10	+24	+24	+24
資格科目 （司書・社会教育主事・学芸員など）		+12			
教職・資格・再履修含む場合の 上限単位数		64	66	66	66

- 進級あるいは卒業する場合には、当該年度に総合教育科目・専門教育科目より4単位以上修得しなければなりません。
- 資格科目（図書館司書・学校図書館司書教諭・社会教育主事・博物館学芸員）については、「教職・資格・再履修を含む場合の上限単位数」内であれば、上限はありません。
- 1年生は、教職科目10単位（資格科目12単位）を上限とします。
- 2年生以降の再履修科目については、7単位を上限とします。
- 半期毎の履修登録単位については上限を設けませんが、次の表を目安にして、一方の学期に履修が偏りすぎることのないよう計画的な学習計画を立ててください。

## (2) 半期履修上限の目安

【春学期】 22単位   【秋学期】 22単位

- ◆ 上記単位数はあくまで上限の目安です。どちらか一方の学期に履修単位が集中しないよう計画をたて、上記の目安を参考にして、春学期科目単位数+秋学期科目単位数+通年科目単位数が42単位を超えないように履修してください。

- ◆ 履修単位の計算方法は以下のとおりです。

$$\boxed{\begin{array}{c} \text{春学期授業科目} \\ \text{の履修単位数} \end{array}} + \boxed{\begin{array}{c} \text{秋学期授業科目} \\ \text{の履修単位数} \end{array}} + \boxed{\begin{array}{c} \text{通年授業科目} \\ \text{の履修単位数} \end{array}} \leq \boxed{\begin{array}{c} \text{年間履修上限} \\ \text{単位数} \end{array}}$$

## (3) 再履修とは

以下に示す条件において、その不足単位数を補填するために履修することを言います。

- 履修登録をした科目を履修した結果、不合格（D及びE評価）となった単位数
- 履修登録上限単位数まで履修登録せず、未登録となった単位数

再履修単位	1年次	(1年次配当単位数合計) - (修得済卒業所要単位) 42単位
	2年次	(1年次配当単位数合計) - (修得済卒業所要単位) 42単位
	3年次	(1・2年次配当単位数合計) - (修得済卒業所要単位) 84単位
	4年次	(1・2・3年次配当単位数合計) - (修得済卒業所要単位) 132単位

## (4) 卒業保留者の注意点

単位不足で卒業保留となった者は、次頁の表のとおり、未修得単位数により登録可能単

位数が異なるので注意してください。

未修得単位 24 単位以内	年間登録可能単位数 42 単位 (教職・資格科目を含める場合は 66 単位)
未修得単位 25 単位以上	年間登録可能単位数 66 単位 (教職・資格科目を含める場合も 66 単位)

# 第7章

## 進級・成績

### 1. 進級要件

下記「進級に関する規程」の条件を満たすと進級（4年生の場合は卒業）となります。

#### 進級に関する規程（スポーツ健康学部）

第1条 第1年次から第2年次へ進級する者は、第1年次修了までに20単位以上を修得しておかなければならない。ただし、入学前に他大学で取得した単位を卒業所要単位として認定された場合は、認定単位の他に本学において卒業所要単位となる4単位以上を修得した上で前記要件を満たしていなければならない。

第2条 第2年次から第3年次へ進級する者は、第2年次修了までに40単位以上を修得していなければならない。

第3条 第3年次から第4年次へ進級する者は、第3年次修了までに次の要件を満たした上で、80単位以上を修得していなければならない。

- |                  |      |
|------------------|------|
| (1) 外国語科目        | 6単位  |
| (2) スポーツ健康学入門    | 2単位  |
| (3) スポーツとキャリア形成  | 2単位  |
| (4) スポーツ実習入門     | 1単位  |
| (5) 専門基礎科目（講義科目） | 16単位 |

第4条 進級あるいは卒業する場合は、当該年度に4単位以上修得しなければならない。第3年次修了までに卒業所要単位を満たしている場合も同じ扱いとする。

第5条 進級は学年度初め（4月1日付）をもって行う。

#### 付 則

- 1 本規程は、2013年4月1日より施行する。

## 2. 卒業要件

卒業は、4カ年（最長8カ年）在籍し、下記卒業要件を満たした者に対して認められます。

### ◆ 卒業要件単位

科目分類	総合教育科目		専門教育科目			
	外国語科目	視野形成科目	専門基礎科目	専門基幹科目	専門科目	専門演習
必要 単位数	8単位以上	20単位以上	27単位 (必修)	12単位以上 (必修選択)	選択したコースから 20単位以上	選択
	28単位以上				50単位以上	
卒業所要 単位数	90単位以上					
	124単位					

## 3. 修業年限および在学年限

本学の修業年限は4カ年です。また、休学期間を除き、本学に8カ年を超えて在学することはできません。なお、春学期に在学し、秋学期に休学・退学及び除籍になった場合の在学期間は0.5年となります。

また、2年次転・編入者の在学できる期間は6カ年、3年次転・編入者の在学できる期間は4カ年となります。

## 4. 早期卒業について

以下の条件を満たす者に3年次の学位授与（早期卒業）を認めています。

- 本学部に3年以上在学し、卒業の要件として各学部が定める単位を優秀な成績をもって修得したと認められる者とする。ただし、再入学（復学・復籍）、転・編入学および転籍した学生は、早期卒業の対象とならない。
- 本学部の定める卒業所要単位のうち、9割以上がA評価以上（ただし、R、S、P評価は含まない）であること。
- 3年次終了時点の卒業所要単位対象履修科目におけるGPAが3.0以上であること。  
(詳細は、『法政大学早期卒業に関する規則』参照)